

## 2019年度事業計画

(2019年4月1日～2020年3月31日)

本年度の活動については、引き続き、設立の趣旨である「幅広い視点からの知見にもとづく多角的な検討に基づいた取り組み」を行うことを基本とし、海洋産業界と鉱業界ならびに周辺業界との間の交流を一層深める。

昨年度を振り返ると、直近では今年2月に「海洋エネルギー・鉱物資源開発計画」が改定され、今後5年間程度の海底鉱物資源開発の計画の方向性が示された。また、昨年には、JOGMECがこれまでの海底熱水鉱床開発に関する総合評価を実施・公表した。さらに5年間に及ぶ第1期SIPが多岐なる研究成果を挙げて終了するとともに、新たな5年計画の第2期SIPが下半期から既にスタートするなど、我が国の深海底資源の開発に向けた取り組みの節目の年度であったと言える。

また、国外に目を向けると、国際海底機構では、深海底資源の開発に関する規則の策定に取り組んでいるところである。

当RTとしては、これら国内外の最新技術や政策動向について、引き続き全体会合、特別研究会、見学会等の開催、および情報発信事業を通じて、会員の情報共有を図り、我が国の深海底資源の発展に資する有益な交流の場の提供に努めるとともに、国際会議等への調査員派遣や人材育成・研修事業にも取り組み、一層の事業活動の充実を図る。

なお、本年度は当RT設立10周年を迎えることから、記念事業を実施する。

### 1. 理事会、総会、幹事会の開催

理事会を1回以上、総会を1回、幹事会を必要に応じた回数、開催する。

### 2. 全体会合等の開催

全体会合を複数回開催する。その他、適宜、特別研究会等を開催し、海底鉱物資源開発を牽引する国内外の団体等について学び、交流する機会を設ける。

### 3. 人材育成・研修事業の実施

昨年度に続き、深海底鉱物資源の利活用促進に資する人材を育成することを目的に、一般財団法人国際資源開発研修センター（JMEC）との共催により「海底鉱物資源開発基礎講座」を開催する。昨年度は理事会・総会開催時には既に終了という実施時期であったが、今年度は10月開催を予定。

(参考) 昨年度の研修内容

- ・ 受講者：12名
- ・ 座学：2018年6月7日（木）、8日（金）、11日（月）  
JMEC 会議室（東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル4階）
- ・ 見学：6月12日（火）東邦亜鉛株式会社小浜製錬所（福島県）  
6月13日（水）海洋調査船「白嶺」（千葉県）

#### 4. 見学会等の実施

海底鉱物資源の開発の参考になると考えられる、船舶、研究施設・設備、鉱山関係等を対象に、例年同様、数回の見学会を実施する。

#### 5. 情報受発信事業の実施

会員限定の情報・資料の提供・共有、さらに外部機関の関連情報の収集、および会員内外への情報発信等の充実・強化に取り組む。

- ・ 活動内容の記録や調査研究成果等の報告書（RT レポート等）、有用資料等の発行・配布
- ・ 会員保有技術の情報共有・提供
- ・ ホームページ／会員専用ページのリニューアルおよび更新・充実
- ・ 「RT メールニュース」の配信（年度内12回程度）
- ・ その他、関連する情報受発信活動

#### 6. 海洋資源の開発および関連産業の振興に関する調査・研究等の実施

多角的な立場・視点から情報及び意見交換、さらに必要な調査・研究活動を精力的に行い、一層の充実を図る。

- ・ 海外における海底鉱物資源開発に関連する法整備、各種技術動向、環境保全対策等の把握
- ・ 海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等への調査員派遣、情報収集  
下記の例のほか、適宜、調査員等の派遣による情報収集を行う。

例：UMC-2019：48th Underwater Mining Conference

（中国・海南島にて9月22～27日開催）

Asia-Pacific Deep Sea Mining Summit

（シンガポールにて12月4～5日開催）

- ・ 上記を含む海外における海底鉱物資源関連の学会、国際会議等へのRT会員の積極的な参加を促すために、参加登録費等の支援制度を新設
- ・ 国際機関等による有用資料やその他資料の翻訳・編集・出版・配布  
例：ISAが現在策定している「深海底における鉱物資源の開発に関する規則の草案」“Draft regulations on exploitation of mineral resources in the Area”の翻訳
- ・ その他、会員の意向に基づく有用情報のとりまとめ

#### 7. 10周年記念事業の実施

海洋資源・産業RT創立10周年を迎えるにあたり、記念事業を実施する。

（記念事業の例）

- ・ 10周年記念式典の企画・準備（2019年3/4半期に記念パーティとして開催予定）
- ・ 「海洋資源・産業ラウンドテーブル10年史」の企画・編集（沿革、活動実績、設立当初の関係者からの寄稿文等々を収録して、会員内外に配布）

#### 8. その他、RTの目的を達成するために必要な事業の実施

その他本会の趣旨に沿って、その他の事業活動に取り組む。

- ・ 事業活動に関する会員の意向調査（アンケート）の実施

- ・ 調査研究委託事業等の事業拡大

#### 9. 事務局体制の充実

上記の各種業務を円滑に実施するにあたり、今年度より常勤スタッフを増員することで事務局体制の充実を図る。

#### 10. 予算方針

昨年度に引き続き、本年度も事業活動の一層の充実に努めることから、単年度収入を上回る支出を予定するという考え方の予算計画とし、収支の差額は繰越金によって充当する。今年度の予算案で、年度初めに単年度収入プラスアルファの繰越金というレベルになる。これが、次年度以降も会の安定した運営の適正レベルと考えられる。

以上